

本屋でんすけ 2015. Aug.

にゃわら版

気まぐれに発行。

No.70



本の中から
"発見"しよう。

Take free

大人はいいよね、 読書感想文と無縁なもの。

なー(笑)学生のころ苦労した読書感想文の大人のみなさまは楽しんですよねえ。でも、実は読書感想文を書く、って一冊一本と向き合ういい機会なはず。そこで"今回はよくよく読むと何か自分の中に発見がある(ありそう!)... そんな本を集めてみました。その"発見"が"豆知識なのか、教訓なのか、共感なのかは人それぞれ。



さて、本の中から何か見つかるとはしょうか?

千年鬼

西條奈加著
徳間文庫
¥680+税



怒り辛みを糧にして人の中で成長する"鬼の芽"。それを宿してしまつた唯一の友のため、小鬼の純粋な想いは時を超え、"彼女"の元へ。

いちにち8ミリの。



中島たけえ著 双葉文庫
大好きな女の子に近づきたくて、毎日8ミリずつ動く石。「ゴリゴリ」かきこえるアカシアの木。遊園地の忍者のおっさん。しんがりしている予想外のことが"おまじり"する気の抜けた面白い奇想作。

1日このくらい



¥571+税

これは王国のかぎ

荻原規子著 中公文庫
"あたしはあたししていることをやめた。" ひといい失態をたてた泣きつかれて眠って起きたら、たんと首たけの魔神族にたまった?! 読みごたえのあるアラビアンファンタジー。



死した同期の太、ちゅんとの"約束"を果たすため、合鍵と星型ドライバーを持って私は太、ちゅんの部屋にしのびこむ。"とも読みせよ! これも芥川賞受賞作"

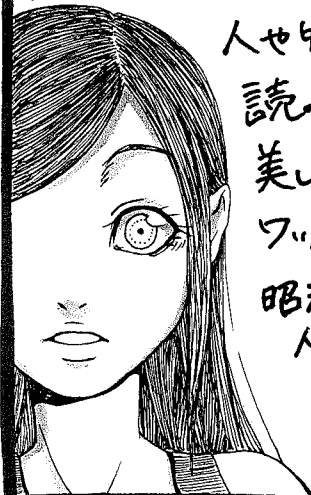
沖で待つ

糸山秋子著 文春文庫 ¥457+税

わくらは日記

朱川湊人著 角川文庫 ¥552+税

人や物がもつ記憶を
読み取る能力がある
美しい姉と妹、その妹。
フッコちゃんの物語の
昭和30年代を舞台に。
人と人のつばかり。
あはれおまじがしめ子
ノスタルジー×ミステリー



死んでいるから

柴田元幸著 日経文芸文庫 ¥680+税

翻訳家で知られる

柴田元幸さんのエッセイの
タイトルからわかるように
ユーモア満載の
“エッセイ”を読んだこと
ない人にもオススメの

思わずタイトル買い
しちゃいました... (笑)



注:電車の中で
読まない方が
いい話も
入ってます...

クワンソウ

永井すずみ著 光文社文庫

14歳の“少女”が、23歳の“女性”に
なるまでを描いた連作小説の

自分に自信がない、友達と話が
合わない、人生そう簡単に

うまくないかな...
それでも、確実に、前へ。



¥590+税

白の鳥と黒の鳥

いししいし著 角川文庫

ブラック要素多めの短篇集の
15の10人〜12(ほと)のお話

たけと、たからこそせと
丁寧に読んでみてほしいわ

そして、この本も
1つの「こまゆい」

...です。 ¥476+税



触法少女

徳間文庫

¥680+税

ヒキタクニオ著

幼いころ、虐待され捨てられ
母親に九子は復讐する

罪を犯しても、13歳と、

14歳では天と地ほどの
差がある——九子の

完全犯罪は成立するの。

“法の穴”をあなたには見ろ



Twitterアカウント
@densuke
_neko

てんすけのかいぬ

学生ころ、夏休みの読書感想文が大嫌いで「こ
「私は...」というくだりから進まないで「す
そのせいで「読書が嫌い」高校卒業まで
読んだ本の数は片手で「数えられるほど」
実は今でも次から次へと読むのは著者が「
そのせいで「今では本屋で働いているのだから
その中何かが起るかわかりませぬの私か
本を読めると気づいたキムカワは、当時アニメ
かたまりの小野不由美さんの「十二国記」に
ドハマリして、その続きが「知り」に「...そん
簡単なこと」で「この本と「良い出来」
を、もっと子供の時に読んでいたら、あと本が
楽しくなっていたかもしれない
今でもそう思います。でも、まだ「まだ」
これから、おはせまも、良い本が
見かけますように

